

ERRATA

正誤表

Masumi Nagasaka, « “Il” de l’Illéité / “il” de l’il y a : La philosophie de Levinas et le scepticisme »
in : *Rencontrer l’imprévisible -A la croisée des phénoménologies contemporaines*, Le Cercle herméneutique,
2013, pp. 111-134.

Page	Ligne	Au lieu de	Lire
119	22, 25	καθ' ἄυτό	καθ' αὐτό
133	44	אֵל	אֵל

長坂真澄、「レヴィナスの思想と懐疑論——哲学における真理基準遡行の足跡」、『現代思想』、青土社、2012年、pp.190-207.

頁	段	行	誤	正
193	2	4	HuaXXXVI	HuaXXXIV
195	2	8	EN112	EN15
196	2	13	καθ' αὐτό	καθ' αὐτό
203	2	24	によって、わたしを	によって、一方では、「ある」の深淵にわたしを
207	1	26	HuaXXXVI	HuaXXXIV
207	2	16	de 21 morale	de morale

長坂真澄、「不可能性の可能性——デリダのフッサール読解から浮かび上がる信の概念——」、『フランス哲学・思想研究』第17号、日仏哲学会、2012年、pp.161-169.

頁		行	誤	正
165		31	不可能なもの	不可能なもの

長坂真澄、「アポリアの始まり——若きデリダのフッサール『算術の哲学』読解——」、『現象学年報』第30号、日本現象学会、2014年、pp.133-140.

頁	段	行	誤	正
137	1	18	衛生	衛星

長坂真澄、「デリダと存在神学——カント、ハイデガー、レヴィナスの交錯する場所へ」、『現代思想』Vol. 43-2、青土社、2015年、pp.308-321.

頁	段	行	誤	正
318	1	5	デリダこのことを	デリダはこのことを

長坂真澄、「超限と無限——カント及びカントールを經由するラズロ・テンゲリのフッサール論」、『宗教哲学研究』第35号、2018年、pp. 90-103.

頁	段	行	誤	正
98	1	2	そうである。」	そうである」
98	1	3	Hua XX/1 19g	Hua XX/1 199

長坂真澄、「tertium datur—排除されない第三項と汲み尽くしえない無限
ゲーデルを通過するデリダのフッサール読解を手がかりに」
『現代思想』2023年7月号『特集＝〈計算〉の世界』、青土社、235－246頁。

頁	段	行	誤	正
235	2	1	『論理学研究』第一卷(1900/1901)	『論理学研究』第一卷(1900/1913)
236	1	22	網羅的に想定できる	網羅的に規定できる
236	2	9	quicquid	Quicquid
236	2	12	汲み尽くしうる無限	汲み尽くしうる無限
237	1	7	『幾何学の基礎論』第二版(1902)	『幾何学の基礎』第二版(1903)
238	2	13	「優れた公理的概念	「明確な公理的概念
239	2	2	矛盾が導き出される余地がある	矛盾が導き出される余地がない
241	2	2	Bew[R(q);q]は真となる。	$\overline{\text{Bew}}[R(q);q]$ は真となる。
241	2	3	次に $\sim[R(q);q]$ の否定が	次に $[R(q);q]$ の否定が
242	2	9	(pp. 71sq.)	(LTS 71sq.)
242	2	15	(p. 73)	(LTS 73)
243	1	24	Sinnbildung	Sinnbildung
243	2	13	(Idem)	(OG43)
244	1	1	フッサールは続ける。	
245	1	10	ほかならなず	ほかならず
246	1	4	引用文中の強調はすべて原文による	引用文中の強調は省略